

誰もが必要な介護を受けられるよう、市の努力を

佐々木しょういち 市議



軽度認定して介護サービス給付を制限する介護認定基準の改悪は、国民の強い批判にさらされ、国は見直しをせざるを得ませんでした。佐々木市議は大津市での見直しの結果について質問。

【問】大津市独自の制度の検討を求めましたが、「法上は認められているが保険料の増加になるのでは」という回答です。生きるために必要な介護を保障する市政が必ずです。

市営ガスの多額の利益を市民生活に還元せよ

つかもと正弘 市議



【問】市のガス事業は、昨年度8億6千万円の赤字で、年度末に130億円にのぼる現金・預金や有価証券を保有している。ガス料金値下げや同じ企業会計の上下水道料金を軽減すること、また一般会計への支援など市民生活に還元するべきではないか。

【答】利益は、企業債の返済、施設整備にあて、内部留保はガス供給区域の拡大や老朽管の交換などの安全対策に使う。その上で、他会計については、低利での短期資金の融通をしている。



【塚本】引き続き市民生活に有効に活用されるよう検討を求めたい。

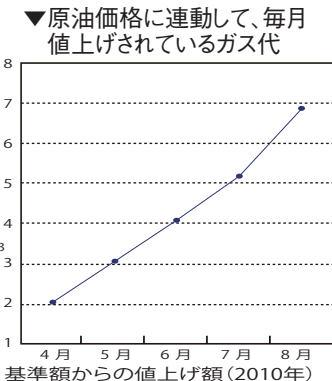
地域公共交通の充実で市民に優しいまちづくり

石黒かづ子 市議



【問】高齢化に伴い、大津市でも公共交通の充実を求める声があいついでいる。この間、住民の様々な取り組みがされているが、財政的な負担が大きく前進できていない。交通弱者に対しての配慮、環境面・まちづくりの視点からも積極的な支援を。

【答】市には、目立った公共交通の空白地がないことから、既存の地域公共交通機関の維持活性化を進めることが最優先であり、ひきつづき住民、事業者、行政の3者による情報交換などの側面的支援を行うために、活性化協議会で議論している。



競輪事業の廃止への決断を早急

【問】6月の高松宮記念杯競輪の売り上げは107億円と大幅な減収となり、競輪事業は、約18億円の累積赤字がある。早急に廃止への判断が求められていると思うが、見解を。

【答】存廃の判断は大変重大な事項。まずは、関係者で、庁内で十分に議論をさせていただきたい。

民主・自民・公明など 学びたいと願う 若者の声に応えず



長引く経済不況の影響で、進学を断念したり退学に追い込まれる若者が増加しています。

6月議会を前に、京都・滋賀の私立大学に通う学生と教職員約12名が市議会の各会派を回られました。

Aさんは「大学の近くで下宿したいが、生活費もままならず、バイトで時間に追われ通学時間もかかり、思うような研究もできない」。Bさんは「高校・大学卒業時点で合わせて1千万円近い借金を抱えるのに、雇用は不安定で返済の目途が立たない。就職活動は年々早期化され、面接で遠くまで呼び出され交通費もかかる」など今の学生が置かれている厳しい実状が訴えられました。

日本共産党は意見書案を提出し、他会派の賛成を求めました。「企業による雇用のルール化」「給付制の奨学金の創設」は社民クラブが賛成したもの自民、公明、民主、清正会が反対し否決されました。

若者がお金の心配なく学べる社会が求められます。

	湖誠会	市民ネ	共産党	公明党	大志会	清正会	要の会	印新会	社民ク
○:賛成 ×:反対									
中等教育および高等教育の無償化を求める意見書	×	×	○	×	×	×	×	×	×
就職活動のルールづくりと若者の雇用確保を求める意見書	×	×	○	×	×	×	×	×	○
給付制奨学金の創設を求める意見書	×	×	○	×	×	×	×	×	○

市民の命と健康を守る 国民健康保険の改善を

杉浦とも子 市議



【問】滞納世帯への対応は？納付できたかどうかだけなく、「国保が市民を苦しめていないか」市としてチェックできているか。

【答】滞納世帯への対応は、納付相談で状況を把握し、必要に応じて割合が年々増加している。保険料の収納率も低下している。

【問】資格証は一切出さず、短期証で対応し、滞納世帯を訪問して生活状況を調査している自治体もある。相談に来る人だけを対象にせず、市民の実情を知るために市が動くことも必要ではないか？

【答】様々な事例は研究しているが、まず市の窓口に来てもらうことが基本。滞納世帯の状況把握には努める。

【問】低所得者対策と併せて、保険料の引き下げを。

【答】H22年度は可能な限り保険料を抑えた。国保は構造的な問題を抱えており、将来を見据えた改革が必要と考える。健全運営に努めつつ国に財政基盤の対策を求めていく。



関係機関の窓口を紹介したりしている。約束不履行だと預貯金調査をし、差し押さえをおこなっている。

【問】国保法の窓口での減免規定を市民のほとんどが知らないのでは？積極的活用を。

【答】国でモデル事業がおこなわれ、本年度中に一定の基準が示される。これに基づき、施行規則や細則の見直しをおこない、適切な運用に努める。